

府民の負担増 35.4億円に

4 医療費助成 府が新たな削減案示す

大阪府は、老人・障がい者、ひとり親家庭、乳幼児の独自の医療費助成制度について、窓口負担の引き上げや、乳幼児世帯への所得制限強化などの削減案として、「福祉医療費助成制度の見直し」について府としての考え方を9日に示した。協会は助成削減に反対する知事宛の署名に取組む。

府の考えは、入院ととも医療機関あたり1回500円(月2回限度、月額上限2500円)の窓口負担を、通院は1回単価を800円に引き上げ、入院は月額上限の2500円負担とするもの。救急医療では8000円に加えて、時間外500円の負担を求める。所得制限の強化は、乳幼児のみに導入する構えで、新たに8千人の子ども達が助成対象外になる(図)。

府の試算では通院窓口単価の引き上げで13.8億円、入院窓口負担の引き上げで2.1億円、救急医療機関での休日・時間外加算で0.5億円、所得制限の強化で1.3億円と17.7億円となり、市町村も同様の削減を実施すれば、府民負担は35.4億円にものぼる。

4医療費助成は「制度の維持」を理由に2004年に一部負担金が導入されたばかりで、現在の予算はたったの185億

(図) 助成制度の削減案

| | | |
|---|--|--------|
| ●所得制限(乳幼児医療費助成) | | 1.3億円 |
| 児童手当(特例給付)⇒児童手当全体の4.0% 8000人が対象外に26市町村が所得制限なし | | |
| ●窓口負担増(老人・障がい者・ひとり親・乳幼児) | | |
| ・窓口単価の引き上げ | | 13.8億円 |
| 500円/日(月2日)⇒800円/日(月2日) | | |
| ・入院時の負担増 | | 2.1億円 |
| 500円/日(月2日)⇒2,500円/月または500円/日(月5日) | | |
| ・救急医療機関における休日・時間外診療時の加算 | | 0.5億円 |
| 救急医療機関における休日・時間外診療を受診した場合⇒500円/日を加算 | | |

円。税収は04年比で2千億円以上増えており、全く道理がない。昨年4月に橋下知事が

助成見直しを表明して以来、助成削減反対の運動が大きく広がり、多数の団体が署名や要請を繰り返し、9月議会では、助成制度の維持を趣旨とする意見書が全会派一致で採択されている。当初、昨年11月からの実施を考えていた窓口負担増も、ストップさせてきた。

第21回理事会

4医療費、レセ電署名など

府、国への運動対策を決定

2月府議会を前に協会は、4医療費助成の削減

に反対する署名に取り組むことにし、1月中旬に

会員に届けた。府民の反対の声を府に突きつけ

て、セーフティネットである助成制度を守る。

協会は10日に第21回理事会を開き、社会保障削減路線と決別し、歯科医療の窮状を打開し、国民が安心して暮らせる政治に転換するための1、3月の医療運動を決めた。29日には後期高齢者医療制度廃止法案の衆議院での審議促進、患者負担を軽減し、診療報酬改善を求める国会要請行動を保留として行う。年末に実施した会員連名署名には会員の5割近くの賛同があり、この署名を携え

て地元国会議員や政党に要請する。この日は、自主共済制度を守る全国懇話会も、休業保障制度の保険業法からの適用除外を求めて国会要請行動を予定しており、協会も参加する。適用除外を求める衆議院議員の請願署名は、2月中旬から3月にかけて改めて会員に協力を呼びかける。橋下徹大阪府知事が、今年11月からの改選を狙う老人・障がい者ひとり親、乳幼児に対する医療

費助成制度は、2月24日から始まる府議会に「見直し案」が提出される。協会など府民団体は、負担増となる「見直し」をさせないよう、知事と府議会議員宛の請願署名に1月から2月中旬にかけて取り組む。

レセプトオンライン化問題では、年明けに国保連合会から医療機関に送られた「お知らせ」をめぐって、協会に問い合わせが続いている。レセプトオンライン化の狙いは医療

「オンライン」を用いた費用の請求を行う義務がないことを確認する「訴訟」を準備、今年21日に提訴した。会員にこの取り組みを紹介することにした(関連2面)。

09年度予算審議が山場を迎える3月14日には、近畿規模の「守ろういのち!なくせ貧困」集会を大阪・御堂会館で開く。

レセ電算システム

確認試験参加の必要ない

小澤力副理事長(政策部長)が談話

大阪府社会保険診療報酬支払基金(基金)から2008年12月22日付で、大阪府国民健康保険団体連合会からは09年1月6日付で、それぞれ「レセプト電算処理システム」の稼働に伴う今後の予定について(お知らせ)という事務連絡が、府下の全歯科保険医療機関に発送された。この通知への対応について、小澤力副理事長(政策部長)が13日、談話を発表した(編集部)。



事務連絡の内容と時期について

政府・厚労省は、2011年4月1日以降オンラインによる請求以外は診療報酬請求を認めない

11年4月1日以降オンラインによる請求以外は診療報酬請求を認めない

一部例外を除くと、06年4月の厚生労働省令第111号で通知してき

医療機関のレセプトデータを審査支払機関(基金・国保連合会)が利用可能な電子データに変換するソフト「レセスタ」の無料配布を開始し、保険医療機関のレセプト電算

処理システム(レセ電)への参加を誘導しました。歯科については、08年10月3日に厚労省は電子点数表等をHPに公開し

対応について どう対応するかです。申し込む必要は全くありません。義務も不利も発生しません。

先行している歯科でも露骨な誘導を行っています。レセ電参加医療機関はこの3年をみて、06年10月8・08%、07年7月10・4%、08年22・0%と遅々として進んでいます。逆に紙レセプトによる請求は、直近の08年11月でも医療総医療機関の73・9%、診療所の76%と圧倒的に多数を占めているのが現状です。

これは、レセ電やオンラインによる請求の危険性を保団連が早くから指摘していることや、三師会もレセプトオンライン義務化に強く反対していることを通じて会員の皆さんに周知していきます。

協会の立場

協会は、①患者情報の漏えいの危険性②医師の裁量権を奪う③医療費抑制に悪用—などの理由から、オンライン請求を拒否し、強く反対しています。

レセ電は、オンライン請求の前段階にあたりません。オンライン請求に関する内容や対応については、今後、あらゆる機会を通じて会員の皆さんに周知していきます。

詐欺師達が盛んな時代では、真面目な勤労者が浮かばれない。

元々国民からの税金じゃないか。

官民の詐欺師達が盛んな時代では、真面目な勤労者が浮かばれない。

元々国民からの税金じゃないか。

官民の詐欺師達が盛んな時代では、真面目な勤労者が浮かばれない。

元々国民からの税金じゃないか。

官民の詐欺師達が盛んな時代では、真面目な勤労者が浮かばれない。

元々国民からの税金じゃないか。

官民の詐欺師達が盛んな時代では、真面目な勤労者が浮かばれない。

元々国民からの税金じゃないか。

官民の詐欺師達が盛んな時代では、真面目な勤労者が浮かばれない。

元々国民からの税金じゃないか。

官民の詐欺師達が盛んな時代では、真面目な勤労者が浮かばれない。

元々国民からの税金じゃないか。

2月21日 映画「シッコ」無料上映会・22日 会員学習会

21日は懇親会あり(食事付)、事前にお申し込み下さい(※詳細は3面に掲載)